

[SOUND HOT LINER Features] 最新モデルの数々!

Welcome to the "Jackson Stars" World!!

多彩さを極めた極彩色ラインナップ!

ハード・ロック/ヘヴィ・メタル・ギターの最右翼：ジャクソン・スターズにニュー・モデルが登場。
そのヴァリエティに富んだギターたちを、一挙に大紹介するぞ!

文●ヤング・ギター編集部 YOUNG GUITAR

RR-J1

シャープな切れ味を求める人へ

●Body: Ash with 5A Flame Maple Veneer Top ●Scale: 648mm, 24f ●Neck: Maple Through-Neck ●Fingerboard: Bound Ebony with Sharkfin Inlays ●Bridge: Floyd Rose Original ●Pickups: Seymour Duncan SH-1n (Front), TB-5 (Rear) ●Control: 2 Volume, 1 Tone, 3-Way Toggle Switch ●Hardware: Black ●Finish: TBKS, TSWS, TRS, TBLs, BK ●Price: ¥200,000

NASL-J2BE

フレキシブルなオール・ラウンド・ギター

●Body: Arched Mahogany ●Scale: 648mm, 24f ●Neck: Mahogany Through-Neck ●Fingerboard: Bound Rosewood with NASL Original Inlays ●Bridge: Gotoh Tunamatic with Stop Bar ●Pickups: EMG-81 (Front & Rear) ●Control: 1 Volume, 1 Tone, 3-Way Toggle Switch ●Hardware: Black ●Finish: BK, DMB, DMR, PT, CBL, SBK & Optional Finishes ●Price: ¥150,000

KE-J2

ハイ・フレットにおける
弾きやすさが特筆!

●Body: Alder ●Scale: 648mm, 24f ●Neck: Maple Through-Neck ●Fingerboard: Bound Striped Ebony with Sharkfin Inlays ●Bridge: Schaller Double Locking #1370 ●Pickups: Seymour Duncan SH-1n (Front), TB-5 (Rear) ●Control: 1 Volume, 1 Tone, 3-Way Toggle Switch ●Hardware: Black ●Finish: BK, DMB, DMR, PT, CBL, SBK & Optional Finishes ●Price: ¥145,000

WR-J2

これぞ“ヘヴィ・メタル・ギター”!

●Body: Alder ●Scale: 648mm, 24f ●Neck: Maple Through-Neck ●Fingerboard: Bound Striped Ebony with Sharkfin Inlays ●Bridge: Schaller Double Locking #1370 ●Pickups: Seymour Duncan SH-1n (Front), TB-5 (Rear) ●Control: 1 Volume, 1 Tone, 3-Way Toggle Switch ●Hardware: Black ●Finish: BK, DMB, DMR, PT, CBL, SBK & Optional Finishes ●Price: ¥145,000

ヴァリエティに富んだモデルで 幅広いニーズに対応!

'80年代~'90年代にかけて、世界のハード・ロック/ヘヴィ・メタル・シーンのアーティストから多様な支持を集め、現在でも愛用しているギタリストが多いJacksonギター。日本においてそのポリシーを引き継ぎ、オリジナリティ溢れるモデルを開発し続けているJackson Starsに、膨大な数のニュー・ラインナップが加わった。

ラインナップの基本を紹介しておく、まずJackson Starsのモデルは“J1”“J2”“J3”の3シリーズに別れる。それぞれ“J1”はトップに最高の木材

を使用したシリーズ、“J2”は“J1”の性能をそのままによりリーズナブルにしたシリーズ、“J3”は新たなサウンドを狙った新シリーズ……という位置づけになっている。

特筆すべきは、やはり用意されたモデルの多彩さだろう。例えばピックアップはセイモア・ダンカンもしくはEMGのどちらが好みか、ブリッジはトレモロ・ユニット付きかフィックスド・タイプのどちらが好みか……という具合に、ギタリスト1人1人の好みに幅広く対応できる柔軟さがポイントだ。

今回、YGはここに掲載した5機種を含む大量のモデルを試奏させてもらった。実際に弾き比べて感じたのは、ピックアップやブリッジ以上に、ボディ・シ

ェイブによってサウンドが極端に左右されるということ。総てのモデルを解説するのはスペースがないのでやめておくが、SLはルックス通りに均整のとれたまとまりのあるサウンド、RRはイメージ通りにシャープでヌケのいいメタリックなサウンド……という具合に、アンプから出てくる音が如実に違うのである。なので、楽器店でセレクトする場合はボディ形状の好みだけでなく、実際に総てを弾き比べてみて、その音の違いを実際に体験してみることをオススメする。必ずや、自分の好みと上手く合致するサウンドが見つかるハズだ。

Check Point 新機軸：“J3”シリーズに見る独自のこだわりとは？

ニュー・ラインナップの中でも特に目を惹くこのシリーズ。伝統の良さを残しつつも現代の要素を兼ね備えたそのスペックは、次世代のギター・シーンを担う巨大なるポテンシャルを秘めている！

SL-J3

“H3”ピックアップ搭載で幅広い音作りに対応



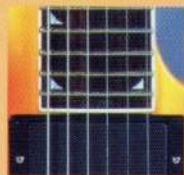
- Body : Alder ● Scale : 648mm、24f ● Neck : Maple Through-Neck ● Fingerboard : Bound Rosewood with Piranha Teeth Inlays ● Bridge : Schaller Double Rocking #1370 ● Pickups : EMG-H3 (Front & Rear) ● Control : 1 Volume、1 Tone、EMG-AB Gain Control、3Way Toggle Switch ● Hardware : Black ● Finish : BK、DMB、DMR、PT、CBL、SBK & Optional Finishes ● Price : ¥120,000

Through-Neck

プレイアビリティ&サウンドの要

4 ベイントを塗す前のSLの背面。ボディを貫くネック材の様子がお分かりだろうか。

Jackson Starsのギターに共通したスペックのひとつとして、筆頭に挙げられるポイントは、やはりスルーネック仕様だろう。ネック材がボディ・エンドまで延び、その両脇にウイングが組み合わさるというこの構造は、古くは'70年代に開発されたジョイント方式で、加工には非常に高度な技術が必要とされる。そのかわりに長いサステインや広いダイナミック・レンジが獲得でき、さらにカットウェイを深くすることができるので、実に2オクターヴ(24フレット)という広範囲の音域をカバーできる……と、まさにいいことづくめの仕様なのである。



▲24フレット仕様も、スルーネックだからこそ音質を損わずに実現できる。

EMG-AB Gain Control サウンド作りの新機軸



4 ピックアップはフロント、リアともに、同じEMGの“H3”がマウントされている。パッシングなので電池は必要ない。



4 ヴォリューム・ノブを引っ張ると、20dBのブースト効果を生揮できる。リードを強く弾くときに効果満点だ。

“J3”シリーズ独自のスペックとして特筆すべきは、EMGのニュー・アイテムであるパッシング・ピックアップ“H3”がマウントされていること。アクティヴに迫る非常にロー・ノイズでクリアなこのピックアップはエフェクターのノリも良く、非常に柔軟性が高い。まさにどんなジャンルにでも適合する可能性を秘めていると言える。また、その特性を活かすために組み込まれた“AB Gain Control”は、ヴォリューム・ノブを引っ張ることで出力をブーストすることができる。もちろん深く歪ませても、決して音が暴れることはない。

Graphic Finish

ルックスにこだわる人へ

ステージの華であるギタリストたるもの、外見にも気を遣わなければだめッ！というのは、YGがことあるごとに提唱してきた(?) 誂い文句。その言葉に同調して、自分のギターのボディにステッカーをベタベタ貼りまくっていた人も多いと思う(多くないか)。そんなルックス重視派ギタリストに朗報！ 新しいJackson Starsでは、オプションとして別料金で様々なグラフィック・フィニッシュを選ぶことができるのだ。実は左ページで紹介している“NASL-J2BE”と“WR-J2”、このページで紹介している“SL-J3”は、そのオプションのフィニッシュを施したものだ。他に右に写真で挙げているようなタイプもある。どれを選ぶかはキミ次第！



BOF (Upcharges : ¥70,000)

▲これは“SL-J3”のカットウェイ部分。イエロー～オレンジのグラデーションが見事なフィニッシュに注目。

▼アーティストが好む“炎”をモチーフにしたフィニッシュだ。メラメラ……という音が聴こえてきそう。



HRF (Upcharges : ¥40,000)



EDS (Upcharges : ¥20,000)

▲台風のような渦巻き星雲のような、摩訶不思議なフィニッシュ。ダークなサウンドが好きな人にオススメかな。



STS (Upcharges : ¥35,000)

カスタム・オーダーで自分好みを徹底的に追求！

「このページで紹介してあるモデルもいいけど、僕の求めているギターと微妙に違う」という超こだわり派のギタリストも、心配ご無用。Jackson Starsでは、ユーザーのカスタム・オーダーによるギター製作も請け負っている。取り扱い楽器店に問い合わせるか、もしくはJackson StarsのHP (<http://www.jacksonstars.com>) からオーダーシートをダウンロードし、各欄を書き込んだものを楽器店を通して

送れば、自分のオーダーと寸分違わないものが製作されるという寸法だ。

オーダーの方式は、[アルダー・ボディ、メイプル・スルーネック、ローズ指板、1ハムバッカー、フィックスド・ブリッジのSL]を基本として、そこに様々なオプションを加えていく……というものだが、オーダーシートに書いていないような特殊な仕様も相談に応じてくれるそうだ。この際徹底的に自分の理想のギターを追求したい！という人は、気軽に問い合わせよう。もちろん、上の囲みに載っているようなグラフィック・フィニッシュもOKだぞ。

▲これがJackson Starsのカスタム・オーダーシート。フレット、インレイ、エスカッションetc……徹底的に選択可能だ。